

高瀬尾
1年生

地元の職業人と座談会



沼田

尾瀬高（小林由隆校長）は22日、沼田市の同校で、1年生向けに地元の職業人

との交流が大切」など、班ごとにまとめた活性化への提案を発表した。

を講師に招いた座談会を開いた。生徒65人が地域資源や人のつながりの大切さなどを学んだ。

3年間を通じて取り組む地域活性化プロジェクトの一環で、地元への興味関心を高め、理解を深めようと実施した。

同市利根町や隣接する片品村の農業、食品加工販売業、地域おこ

し協力隊などの7人が講師を務めた。生徒は自然、スキー場、温泉、食べ物などそれぞれ地域の活性化を目指したテーマを設定しており、7班に分かれて関連する職業の講師と話し合った

し協力隊などの7人が講師を務めた。生徒は自然、スキー場、温泉、食べ物などそれぞれ地域の活性化を目指したテーマを設定しており、7班に分かれて関連する職業の講師と話し合った

写真。

最後に「空き家や廃校など地域資源を生かす」「人